



— 西地区地域ビジョンを見直しました —

にぎわいとやすぎの 歩いて暮らせるまち、西地区

豊かな緑と歴史に抱かれた文教コミュニティ
多世代がつながりあい笑顔あふれるコミュニティ



西地区まちづくり推進委員会
2023年度の事業として西地区
地域ビジョンの見直しが行われ
ました。

今回委員の皆様と会議を重ね
ていく中で「多世代」「継続
性」「循環型」という言葉が
キーワードとしてあげられまし
た。目まぐるしく変化していく
現代においても、子どもからお
年寄りまで笑顔が行きかうよう
な西地区であり続けられるよう
に、みんなで見守っていきま
しょう。

ビジョン策定部会長

三柴 一郎



- 風通しの良い体制づくりを進めます。
- 地域情報を共有するために、様々な受発信の仕組みを作ります。
- 地域の宝を発掘して育てます。
- みんなが心をひとつにできるイベントを作ります。
- 学校と地域の連携を強化します。
- 安全で安心なまちをつくりまします。

第10回西小学校の桜を見る会

令和6年3月30日(土)

晴れ渡る青空の下、西地区ひまわり太鼓の皆さんによる元気いっぱいの和太鼓演奏から会が始まりました。つきたてお餅の販売とすぎの芽会さんの雑貨販売には多くの方が足を運んでくださいました。

また、まちなかウォーキングも同時開催され、前一条中学校長・増山孝之様を講師に迎えて、報恩寺や光淋寺などを見学しながらウォーキングを楽しみました。

今年は気温の変化が大きく、桜もいつ咲いたらいいか迷ってしまったようです。来年は満開の桜の下でお会いできるといいですね。



第21回西地区大運動会

令和6年5月25日(土)

第21回西地区大運動会が開催されました。今年は西小学校の校舎長寿命化工事のため校庭の一部が使用できないこともあり、地域と学校で事前に綿密な打ち合わせを行い、より楽しく安全な運動会を目指しました。

それぞれの競技では、勇往邁進の言葉どおり、地域の方々や小学生全員が優勝に向け、心を一つにして力いっぱい戦い抜きました。

来年も皆様の思い出に刻まれるような運動会を開催しようと思います。ご参加ありがとうございました。



令和6年度西地区まちづくり推進委員会事業計画

〔地域づくり活動〕

月 日	事業内容	開催場所
令和6年5月11日(土)	総会（4団体合同総会）	西地域コミュニティセンター
令和6年7月1日(月)	広報誌【ひまわり41号】発行	全世帯配布
令和6年7月27日(土)～ 7月28日(日)	第18回 学校へ泊まろう！	西小学校 西地域コミュニティセンター
令和6年8月	西地区若者Uターンゲート事業	西地域コミュニティセンター
令和6年11月2日(土)	バス研修【地域のまちなみを楽しもう】	詳細未定
令和6年10月（全4回）	歴史講座（柏村祐司先生）	西地域コミュニティセンター
令和6年12月7日(土)	西地区歳末チャリティー餅つき大会【第21回】	西小学校 校庭 西地域コミュニティセンター
令和7年1月予定	西地域コミュニティセンター避難訓練	西地域コミュニティセンター
令和7年2月15日(土)	楽しくクッキング（西小児童対象） アサヒクッキングスクール校長 吉野ひろみ先生	西地域コミュニティセンター
令和7年2月～3月	西和太鼓教室（3回）	西地域コミュニティセンター
令和7年3月1日(土)	広報誌【ひまわり42号】発行	全世帯配布
令和7年3月29日(土)	第11回 西小学校の桜を見る会	西小学校 校庭

地域内各団体 新任の方のご紹介

西地区ひまわり協議体
会長 本多 厚

西地区青少年育成会
会長 伊藤 崇夫

宇都宮市消防団第4分団
分団長 大関 真

西地域コミュニティセンター職員
吉田 康一



シリーズ わたしたちのまち、再発見!! (第7回)

「本郷町・小幡町・清住町の今昔」

栃木県立博物館 名誉学芸員 柏村 祐司 氏

本郷町・小幡町・清住町が、歴史上登場してくるのは、江戸時代、本多正純による宇都宮城下の町割り（区画整理）後である。本多正純は、元和五年（1619）10月から元和8年（1622）宇都宮の藩主となり、その三年弱の間に、宇都宮城の大改修と当時最先端を行く城下町としての町割りを断行した。その町割りの中でそれまでの日光街道と奥州街道とが付け替えられ、その付け替えに伴って新たに本郷町・小幡町・清住町が出来たのである。

本郷町は、日光街道の両側に出来た町人町である。当時、釜川の西側一帯を西原と称し、その本村であったので本郷町と呼ばれた。小幡町は、街道口の防備にあたった小旗組が住んでいた武家屋敷に由来。清住町は、日光街道沿いに人家が増えてきたので新田町と呼ばれたのが、明治8年（1875）に清住町と改名されたものである。

この地域の多くは、明治初期の戊辰戦争の戦火にあい、その後に、防火対策として土蔵造りや大谷石造りなどの建物が建てられた。上野本家の見世蔵・大谷石蔵、田野茶舗店の見世蔵・大谷石蔵、三峰神社の大谷石造りの社殿等である。その他にも村山家の土蔵、三夜堂などの歴史的な建物もある。一方、幸いにも第二次世界大戦の宇都宮空襲での戦火を免れ、戦後、宇都宮市街地では数少ない明治の面影を残す町となったのである。

ところが、上野家住宅を除いて明治の面影を残す防火建築等が取り壊された。今回の再開発は、大火災や大洪水等によって建物が破壊された復興再開発とは異なる。歴史的な建造物等の新たな利用を取り込んだ再開発が出来なかったか悔やまれる。しかしいつまでも悔やんではいられない。今回の再開発が、地域住民にとって「再開発して良かった。おかげで住みよい、誇れる町になった」と思えるものになってほしい。



田野茶舗石蔵



三峰神社

Voice

責任の転嫁

現在、政治資金規正法の審議が進んでいるようですが、本気なのでしょうか。規正法の時効は5年なのに、10年後に領収書を黒塗りでの公開も可とする。こんな茶番を何とも思わないのでしょうか。

政治ってそんなにお金のかかるものなのでしょうか。国会議員の定数は、衆議院465名、参議院248名で、1人当たり概算で7,500万円程支給されているそうです。その他に政党助成金が全体で315億円、自民党だけでも約160億円が支給されています。

これだけのお金は、当然我々の税金で賄われています。選挙には金がかかると言いますが、何にかかるのでしょうか。

立候補するための供託金でしょうか。原則、衆議院は300万円、参議院は600万円です。そもそも供託金が高すぎ、若い人の立候補を妨げています。若い人に門戸を開き政治を活性化して欲しいです。

国会は立法機関ですが、お手盛り機関ではありません。

「悪法も法である」とは、ソクラテスの言葉ですが、これをただすのは政治家であり、その政治家を動かすのが我々であるとすれば、こういう状態になったのも我々の責任なのではないでしょうか。

文責 一 松岡 明直一

西地区支え合い運動 お困りごと相談

子どもたちが活躍！西地区支え合い活動が広がっています。

2022年11月から開始して、これまで10件のお宅のお困りごとに延べ68人が参加しました。お庭の草刈りの依頼が多いです。利用者からは“高齢になると屈むのが辛いので、助かりました”“子どもたちがお庭に来てくれることが嬉しい”という声を頂いています。1回2,000円（2時間程度）頂き、子どもたちへのお駄賃にらせてもらっています。暮らしのお困りごとがありましたら、西地域コミュニティセンター ☎028-635-7141 にご連絡下さい。子どもたちと一緒にお手伝いします。

特定非営利活動法人 とちぎユースサポーターズネットワーク
代表理事 岩井 俊宗



編集後記

暑い時期になると冷やし中華が恋しくなります。また疲れた時は糖分補給も兼ねてアイスクリームも食べたいです。

今年の夏は全国的に気温が高くなり猛暑日が増えると予想されています。熱中症にならないよう、こまめな水分補給と十分な休憩を心がけたいと思います。

編集委員一同

